

バングラデシュ第2回本邦研修

国際協力部教官

高梨未央

第1 バングラデシュへの支援に至る経緯等

1 法務総合研究所国際協力部（ICD）では、1990年代から、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマーなどの東南アジア諸国を中心に、主に、独立行政法人国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクトを通じて、法制度整備支援を行ってきた。

平成25年に外務省が「法制度整備支援に関する基本方針」を改訂し、その際、支援の観点として、「日本企業の海外展開に有効な貿易・投資環境整備等」が追加されるとともに、支援の重点対象国として、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、モンゴル、カンボジア、ラオス、ウズベキスタン、バングラデシュの8ヶ国が具体的に示され、バングラデシュが新たに法制度整備支援の重点対象国の一つとなった。

バングラデシュが重点対象国となった背景には、近年同国が安定的で高い経済成長率を保ち、BRICSに続く新興経済国（ネクストイレブン）の一つと目され、バングラデシュへの日系企業の進出が急激に増加していることがあった。

進出する企業の増加に伴って、法的紛争も増加することが見込まれるところ、バングラデシュ司法の実務改善を図ることは日系企業の海外展開に有効な貿易・投資環境整備につながるものと判断されたのである。

平成25年の基本方針改訂以降、バングラデシュへの具体的な支援の開始に向けて、司法制度等に関する外部調査委託、動向の情勢に関する勉強会、ICD教官による現地調査、同国の法務・司法・議会担当大臣ら同省関係者らを日本に招へいした共同研究等が実施された。

その後、バングラデシュ法務・司法・議会担当省から、平成28年7月、法・司法機関関係者が円滑な紛争解決に必要な技術を取得することなどを目的とした国別研修実施の要請が出され、JICAにおいて、平成29年度から3年間、同国に対する国別研修を実施することを決定した。

ICDは、同研修の実施において、JICAに全面的に協力している。

第2 第2回本邦研修について

1 目的

バングラデシュの法・司法分野においては、裁判所における多量の未済事件が深刻な問題となっており、訴訟外紛争解決手続（ADR）が有力な解消策の一つと目されているものの、種々の要因により現状は同手続が有効に機能していない。

バングラデシュに対しては、昨年度からJICAの3年間の国別研修として、法務・司法・議会担当省を実施機関とした年1回の本邦研修が実施されているところ、

第1回本邦研修及び平成30年7月に実施された現地セミナーでは、ADRに関して、中京大学の稲葉一人教授を迎え、調停人養成講座を実施し、いずれも大変好評であった。

今回の第2回本邦研修（以下「本研修」という。）については、バングラデシュ側から、引き続き調停人養成講座を実施すると共に、日本における事件管理に関する知見の提供を求められた。

特に、調停人養成講座については、今後同様の講座をバングラデシュの裁判官に対して実施する指導者を育成したいというバングラデシュ側の強い要望があった。

そこで、本研修では、同国の法・司法機関関係者の能力向上を図ることは勿論、同国の裁判官の研修カリキュラムに調停人養成のカリキュラムを導入すること目標として、同国のバングラデシュ県・セッション判事ら15名の研修員に対し、実演を交えた講義、見学及び意見交換を通じて、調停、民事・刑事手続の事件管理等について知見を提供するとともに、最高裁判所を訪問し、その施設や業務状況を直接見聞きしてもらうことなどした。

また、バングラデシュ側の裁判所の未済事件滞留の現状と改善策、調停の現状と問題点等について研修員らと協議し、今後の本邦研修の内容等を検討する材料等として、バングラデシュ側の問題点に関する詳細かつ具体的な情報を収集した。

2 期 間

平成30年11月12日（月）から同月23日（金）までの12日間

3 場 所

JICA東京及び国際法務総合センター国際棟等

4 研修参加者

バングラデシュ県・セッション判事ら15名

5 研修日程

別添研修日程表のとおり

6 研修内容

本研修の主要なテーマはADRであり、調停人養成については、中京大学稲葉一人教授が主導する調停人養成のカリキュラムに基づき、稲葉教授を始め担当者らが調停人養成に関する講義等を実施し、さらに、模擬調停等研修員らの実演も実施した。

また、ADRにおけるジェンダーの平等というテーマで、静岡大学池田恵子教授がADRにおいて配慮すべきジェンダーの問題について講義を実施した。

さらに、大阪大学大学院吉野孝義客員教授による民事裁判における争点整理と和解についての講義を実施後、研修員の発表を踏まえて、バングラデシュにおける民事事件管理の現状や、未済事件解消に向けた課題について意見交換を行った。

事件管理に関して、最高裁判所と東京家庭裁判所を訪問し、最高裁判所では裁判の迅速化に関する法律及びその検証状況についての講義、東京家庭裁判所では家庭裁判所における事件管理の状況等についての講義をそれぞれ受講した。

研修員らは非常に熱心に研修を受講し、また、アンケートにおいても、研修員らが今回の研修について満足しているという結果を得ており、全体として、本研修は、研修目的を十分に達成するものであったといえる。

バングラデシュ側の目的は、調停人養成プログラムをバングラデシュ側のみで実施できる体制を構築することにあるところ、平成30年12月に実施された第2回本邦研修では、バングラデシュ国内向けの調停人養成カリキュラムの作成等プログラム導入に向けた具体的な準備も始まっており、国別研修の最終年度を迎え、一定の成果を得られるよう今後も担当者一同尽力する所存である。

第2回バングラデシュ法整備支援研修 研修員

1	モハンマド・アニスル・ラーマン
	Mr. Mohammad Anisur Rahman District & Sessions Judge, District & Sessions Judge Court, Narayanganj ナラヤンガンジ県・セッション判事裁判所判事 (県・セッション判事)
2	モハンマド・ショリフ・ウッディーン
	Mr. Md Shorif Uddin District & Sessions Judge, Nari-O-Shishu Nirjaton Daman Tribunal-9, Dhaka ダッカ県女性子ども虐待根絶第9審判所判事 (県・セッション判事)
3	アムラン・クスム・ジシュヌ
	Mr. Amlan Kusum Jishnu District & Sessions Judge, Nari O Shishu Nirjaton Daman Tribunal, Kurigram クリグラム県女性子ども虐待根絶審判所判事 (県・セッション判事)
4	フセイン・モハンマド・ファスルル・バリ
	Mr. Hussain Mohmmad Fazlul Bari Deputy Secretary, Law & Justice Division, Ministry of Law, Justice & Paliamentary Affairs 法務・司法・議会担当省法務・司法局審議官 (追加県・セッション判事)
5	モハンマド・モニルツザマン
	Mr. Md Moniruzzaman Deputy Solicitor, Law & Justice Division, Ministry of Law, Justice & Paliamentary Affairs 法務・司法・議会担当省法務・司法局副法務官 (追加県・セッション判事)
6	メヘディ・アル・マスド
	Mr. Mehedi Al Masud Chief Judicial Magistrate, Chief Judicial Magistrate Court, Narail ナライル県マジストレイト裁判所司法マジストレイト長 (追加県・セッション判事)
7	サイド・マッシュフィク・イスラム
	Mr. Syed Mashfiqul Islam Senior Assistant Secretary, Law & Justice Division, Ministry of Law, Justice & Paliamentary Affairs 法務・司法・議会担当省法務・司法局上席補佐官 (共同県・セッション判事)
8	シャーリア・マフムド・アドナン
	Mr. Shahriar Mahmud Adnan Senior Assistant Secretary, Law and Justice Division, Ministry of Law, Justice & Paliamentary Affairs 法務・司法・議会担当省法務・司法局上席補佐官 (共同県・セッション判事)
9	F M アサヌル・ハク
	Mr. F M Ahsanul Haque Deputy Director, Judicial Administration Training Institute 司法行政研修機構研修副部長 (共同県・セッション判事)
10	サイド・ウマル・ファルク・スジャン
	Mr. Syed Omar Faruque Sujan Joint District & Sessions Judge, Joint District & Sessions Judge Court, Brahmanbaria ブラモンバリア共同県判事・セッション判事裁判所判事 (共同県・セッション判事)
11	カジ・ムシュフィク・マハブブ・ロビン
	Mr. Kazi Mushfiq Mahbub Robin Senior Assistant Secretary, Law and Justice Division, Ministry of Law, Justice & Paliamentary Affairs 法務・司法・議会担当省法務・司法局上席補佐官 (上級判事補)
12	モハンマド・サウワー・アラム
	Mr. Mohammad Sarwar Alam District Legal Aid Officer, Narayanganj, National Legal Aid Services Organization ナラヤンガンジ県法律扶助官 (上級判事補)
13	ラジェシ・チョウドリー
	Mr. Rajesh Chowdhury District Legal Aid Officer, National Legal Aid Services Organization ダッカ県法律扶助官 (判事補)
14	ファルハナ・ロクマン
	Ms. Farhana Lokman District Legal Aid Officer, Cumila, National Legal Aid Organisation クミラ県法律扶助官 (判事補)
15	マリア・バサク
	Ms. Mallika Basak Judicial Magistrate, Chief Judicial Magistrate Court, Shirajganj シラジガンジ県マジストレイト裁判所司法マジストレイト (判事補)

【研修担当/Officials in charge】

教官 / Professor 高梨 未央 (TAKANASHI, Mio), Professor 梅本 友美 (UMEMOTO Yumi)

国際協力専門官 / Staff Officer 遠藤 裕貴 (ENDO Yuki)

第2回 Bangladesh 法整備支援研修日程表

【担当教官: 高梨未央, 梅本友美 担当専門官: 遠藤裕貴】

2019/1/23

月	日	曜日	時間	内容	講師	会場	備考
11	11	日		入国			
11	11	月	9:30	JICAオリエンテーション		JICA東京	
11	12	月	11:00	国際協力部オリエンテーション		JICA東京	
11	12	月	12:30	【講義・演習】調停人養成研修 ①アイスブレイキング、目的意識の確認	小松健太氏 (JICA国際協力専門員), 国際協力部教官	JICA東京	
11	13	火	10:00	【講義・研修員発表】調停人養成研修 ②ADR総論 (Bangladeshの調停、日本の司法型ADR、JICAのアジア諸国に対する調停支援)	小松健太氏, 国際協力部教官	JICA東京	
11	13	火	12:30	【講義・演習】調停人養成研修 ③調停プロセスの流れ、調停の準備と冒頭手続	稲葉一人氏 (中京大学大学院法務研究科教授)	JICA東京	
11	14	水	10:00	【講義・演習】調停人養成研修 ④聴く技法	小松健太氏	JICA東京	
11	14	水	12:30	【講義・演習】調停人養成研修 ⑤困難な状況への対応	稲葉一人氏, 国際協力部教官	JICA東京	
11	15	木	10:00	【講義・演習】調停人養成研修 ⑥調停人倫理	稲葉一人氏	JICA東京	
11	15	木	12:30	【講義】ADRにおけるジェンダーの平等	池田恵子氏 (静岡大学教育学部教授)	JICA東京	
11	16	金	10:00	【講義・演習】調停人養成研修 ⑦課題の特定	稲葉一人氏	JICA東京	
11	16	金	14:00	移動		国際法務総合センター	
11	16	金	15:30	入寮・施設利用案内		国際法務総合センター	
11	17	土					
11	18	日					
11	19	月	10:00	【講義・演習】調停人養成研修 ⑧模擬調停 (ロールプレイ)	稲葉一人氏, 国際協力部教官	国際法務総合センター	
11	19	月	12:30	【講義・演習】調停人養成研修 ⑧模擬調停 (事例教材の検討)	稲葉一人氏, 国際協力部教官	国際法務総合センター	
11	20	火	10:00	【意見交換】調停人養成研修モジュールの検討	稲葉一人氏, 国際協力部教官	国際法務総合センター	
11	20	火	14:10	【意見交換】調停人養成研修導入にあたっての課題と今後の取組み	荒井真希子氏 (JICA主任調査役), 国際協力部教官	国際法務総合センター	
11	21	水	10:30	【訪問】最高裁判所			
11	21	水	12:00	所長主催意見交換会 KKRホテル東京			
11	21	水	12:30	記念撮影 法務省サンクン広場			
11	21	水	14:00	【訪問】東京家庭裁判所			
11	22	木	10:00	【講義】民事裁判における争点整理と和解	吉野孝義氏 (弁護士・大阪大学大学院客員教授)	国際法務総合センター	
11	22	木	12:30	【研修員発表・意見交換】民事事件管理の現状、バックログ解消に向けた課題	吉野孝義氏, 国際協力部教官	国際法務総合センター	
11	23	金	10:00	総括質疑・意見交換		国際法務総合センター	
11	23	金	11:30	評価会・修了式		国際法務総合センター	
11	24	土		出国			